

日本社会福祉士会 LINE 公式アカウントのアンケートについて

皆様こんにちは、日頃より LINE メッセージを見ていただきありがとうございます！

日本社会福祉士会 LINE 公式アカウント（以下、「本アカウント」）は、本会主催の研修情報や福祉の最新情報を多くの方に発信するために 2024 年 6 月から運用を開始しました。2025 年 7 月 2 日時点で 8,656 人の方に友だち追加をしていただき、非常に嬉しく感じております。

この 1 年間で多くの方に友だち追加いただき、研修情報を LINE メッセージから知ったという方も増えている一方、十分に満足できる情報を発信できているのか、是非皆様のお声を聞かせていただきたいと思います。この度アンケートのお願いを本アカウントの友だち追加している皆様にお送りをさせていただきました。

結果として、1,141 名という多くの方にご回答いただくことができ、皆様の率直なご意見をいただくことができましたこと、改めてお礼申し上げます。

■今後の本アカウントの運用について

皆さまの声を参考に、以下の点を中心に本アカウントの運用改善を検討してまいります。

○メッセージ配信回数の改善

今回のアンケートでは、「1 週間に 1 回程度」の配信を希望する方が最多であり、必要であれば都度配信してほしいという意見も複数見受けられました。一方で、あまりに配信を多くすると、通知が煩わしく感じる方がいる等の課題もあります。

そこで、現在は毎月 1・3 週目の水曜日に配信を実施していますが、これに加え、重要と思われる事項については、臨時に情報を発信することを検討したいと考えています。

○発信する情報の改善

今回のアンケートでは、「日本社会福祉士の研修情報」を最も希望する回答が多く、ついで「都道府県社会福祉士会の研修情報」を希望する回答が多いという結果でした。

本会の研修情報については、配信をしておりますが、都道府県社会福祉士会の研修情報については、配信することがあまりなかったため、オンライン研修等で全国の方が受けられるような研修については、情報発信することを検討したいと考えています。

○意見をお伺いする機会の改善

今回のアンケートでは、本アカウント運用の他、日本社会福祉士会へのご意見・ご要望もお伺いすることができました。このように個人の方から直接ご意見をお伺いする機会がなく、アンケートでも意見要望を伝えたいというご意見もありましたので、今後は定期的にアンケート調査を行い、皆様のご意見・ご要望をお伺いし、皆様のご意見を踏まえた会活動や本アカウントでの配信を実施することで、社会福祉士会の活動が身近に感じていただけるように取り組みたいと考えています。

今後も皆さまのご意見を参考に、より良いアカウント運営を目指してまいります。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします！

2025 年度 LINE 公式アカウント登録者アンケート 結果報告

I アンケート概要

1. 調査目的

日本士会 LINE 公式アカウントの登録者満足度および改善点を把握し、今後の情報提供の質向上に役立てることを目的として実施した。

2. 対象者

7 月 2 日 12 時 30 分時点で日本士会 LINE 公式アカウントを友だち追加していた 8,656 人を対象とした。

3. 調査方法

7 月 2 日に日本士会 LINE 公式アカウントより、アンケートの実施についてメッセージを配信し、Google フォームへの回答を依頼した。

4. 実施期間

2025 年 7 月 2 日 12 時 30 分～7 月 22 日 12 時

5. 回答数

1,141 名（有効回収率：13%）

6. 調査項目

- （1）年代について
- （2）お住まいの都道府県について
- （3）属性について
- （4）日本士会公式 LINE アカウントをどこで知ったか
- （5）日本士会公式 LINE アカウントの配信内容は役立っているか
- （6）日本士会公式 LINE アカウントにどのような情報配信を希望しているか
- （7）日本士会公式 LINE アカウントに望ましい配信頻度について
- （8）日本社会福祉士会に期待している活動について
- （9）日本士会公式 LINE アカウントへのご意見・ご要望

Ⅱ 調査の結果

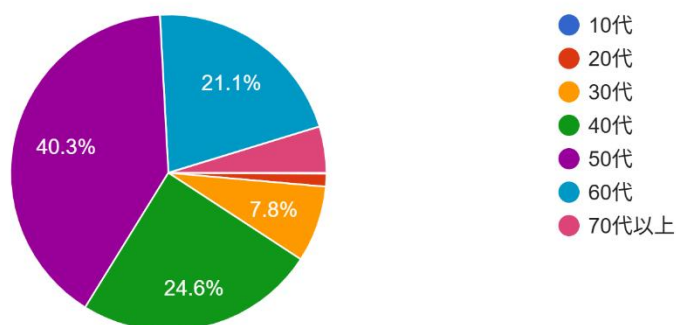
問1 登録者の年代について

登録者としては50代（40.3%）を中心に、40代（24.6%）、60代（21.1%）が多く登録をしており、登録者の86%程度を占めている。

一方で10代~30代の登録が占める割合は約10%程度と低くなっている。

Q1 あなたの年代を教えてください。

1,141 件の回答



年代	LINE 登録者の回答	社士会 年代別会員数（参考） （2025 年 6 月末時点）
10 代	1 人（0.08%）	0 人（0%）
20 代	15 人（1.3%）	1433 人（3.1%）
30 代	89 人（7.8%）	5873 人（12.6%）
40 代	281 人（24.6%）	14660 人（31.3%）
50 代	460 人（40.3%）	14112 人（30.1%）
60 代	241 人（21.1%）	7985 人（17.1%）
70 代	54 人（4.7%）	2827 人（6.0%）

※「社士会 年代別会員数」については、各年代の集計が21~30のように正確な年代別とは異なる。

問 2 お住いの都道府県について

全ての都道府県において、日本士会公式 LINE アカウントを友だち登録している方がいることがわかった。回答者が住んでいる都道府県については、その都道府県に所属する会員が多い程人数が多くなっている傾向がある。

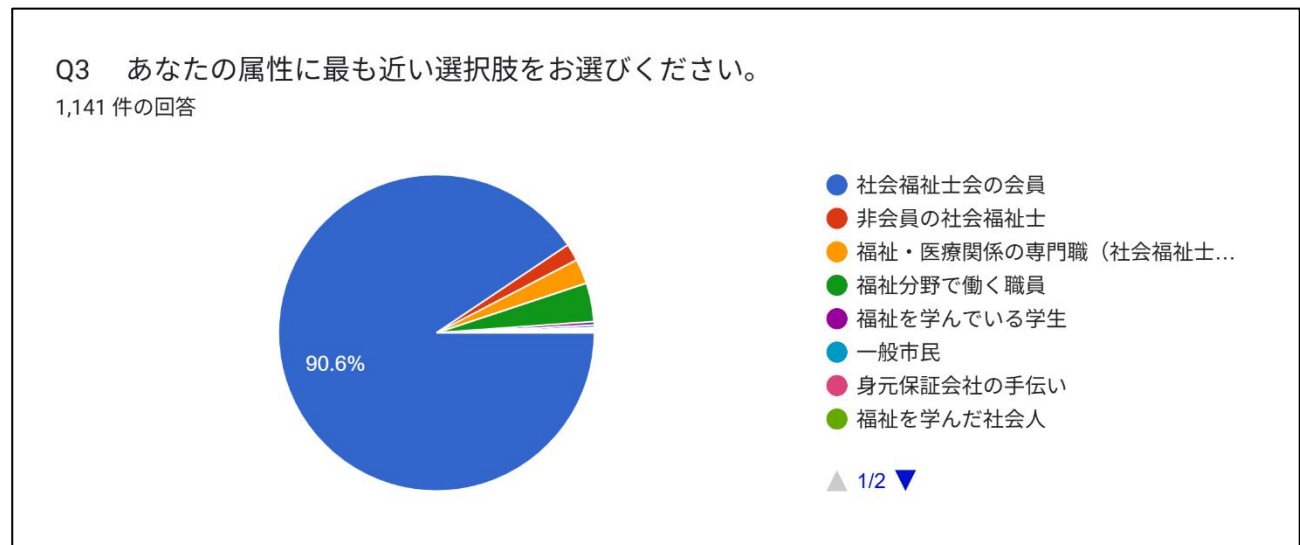
n = 1,141

都道府県	アンケート回答者の 住まい	社士会 会員数（参考） （2025 年 6 月末時点）
北海道	26 人	1874 人
青森県	16 人	723 人
岩手県	23 人	832 人
宮城県	13 人	696 人
秋田県	9 人	431 人
山形県	12 人	604 人
福島県	18 人	790 人
茨城県	27 人	792 人
栃木県	12 人	598 人
群馬県	19 人	726 人
埼玉県	57 人	1866 人
千葉県	46 人	1733 人
東京都	113 人	4521 人
神奈川県	90 人	3136 人
新潟県	23 人	1336 人
富山県	11 人	512 人
石川県	9 人	560 人
福井県	6 人	434 人
山梨県	6 人	408 人
長野県	19 人	1249 人
岐阜県	17 人	628 人
静岡県	29 人	1611 人
愛知県	48 人	1469 人
三重県	30 人	662 人
滋賀県	14 人	624 人
京都府	27 人	1193 人
大阪府	60 人	2449 人
兵庫県	41 人	1888 人
奈良県	18 人	490 人
和歌山県	12 人	342 人

鳥取県	7 人	375 人
島根県	7 人	440 人
岡山県	17 人	772 人
広島県	33 人	1140 人
山口県	13 人	733 人
徳島県	7 人	282 人
香川県	11 人	424 人
愛媛県	20 人	542 人
高知県	5 人	256 人
福岡県	47 人	1966 人
佐賀県	8 人	544 人
長崎県	13 人	590 人
熊本県	23 人	884 人
大分県	19 人	630 人
宮崎県	14 人	656 人
鹿児島県	23 人	793 人

問3 登録者の属性

日本士会公式 LINE アカウントの友だち登録者の 90.6%が社会福祉士会の会員という回答だった。その他には、社会福祉士以外の福祉専門職の方、福祉分野で働く職員の方にも登録されていることが分かった。



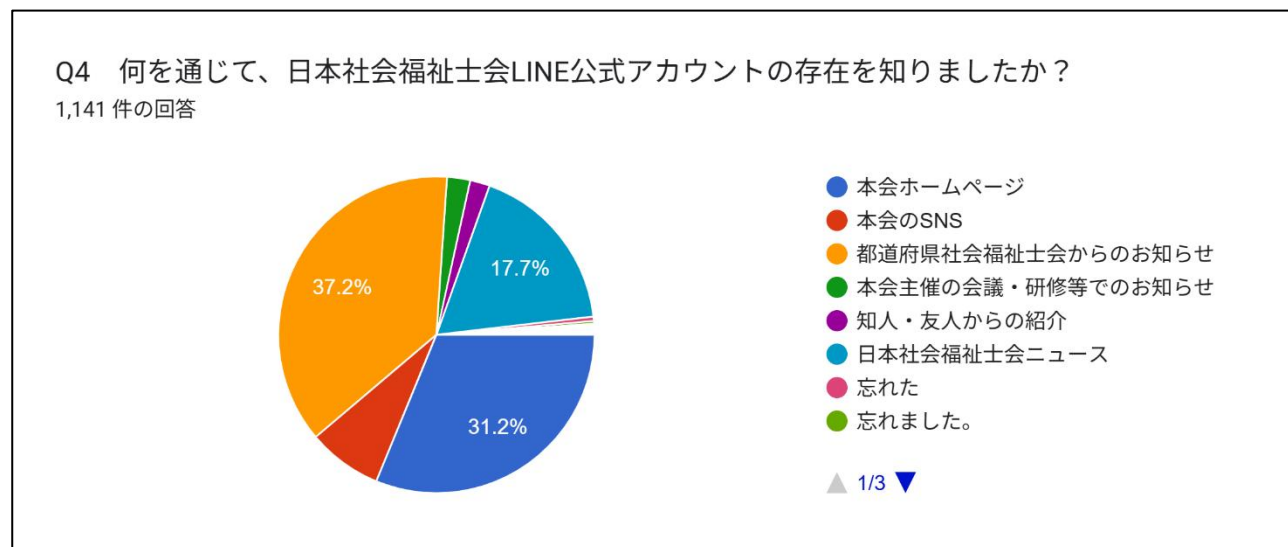
社会福祉士会の会員	1,034 人 (90.6%)
非会員の社会福祉士	20 人 (1.8%)
福祉・医療関係の専門職 (社会福祉士以外)	29 (2.5%)
福祉分野で働く職員	45 (4.0%)
福祉を学んでいる学生	4 (0.4%)
一般市民	3 (0.3%)
その他	—

○その他の内容

・牧師 ・高校教師 ・福祉を学んだ社会人 ・元福祉関係職員 ・身元保証会社の手伝い 等

問4 何を通じて、日本社会福祉士会 LINE 公式アカウントを知ったか

日本社会福祉士会 LINE 公式アカウントをどのように知ったかについては、都道府県社会福祉士会経由という回答が 37.2%、ついで本会ホームページ経由という回答が 31.2%だった。



本会ホームページ	356 人 (31.2%)
本会の SNS	87 人 (7.6%)
都道府県社会福祉士会からのお知らせ	425 人 (37.2%)
本会主催の会議・研修等でのお知らせ	27 人 (2.4%)
知人・友人からの紹介	23 人 (2.0%)
日本社会福祉士会ニュース	202 人 (17.7%)
その他	—

○その他の内容：覚えていない、養成校からのお知らせ 等

■年代別の回答数

	30 代以下 (105)	40 代 (281)	50 代 (459)	60 代以上 (295)
本会ホームページ	26 人 (24.7%)	85 人 (30.2%)	152 人 (33.1%)	93 人 (31.5%)
本会の SNS	10 人 (9.5%)	20 人 (7.1%)	30 人 (6.5%)	27 人 (9.1%)
都道府県社会福祉士会からのお知らせ	47 人 (44.7%)	105 人 (37.3%)	167 人 (36.3%)	106 人 (35.9%)
本会主催の会議・研修等でのお知らせ	0 人 (0%)	2 人 (0.7%)	13 人 (2.8%)	11 人 (3.7%)
知人・友人からの紹介	4 人 (3.8%)	8 人 (2.8%)	10 人 (2.1%)	1 人 (0.3%)
日本社会福祉士会ニュース	17 人 (16.1%)	54 人 (19.2%)	80 人 (17.4%)	51 人 (17.2%)

※10 代・20 代・30 代は回答数が少ないため、30 代以下として回答を整理。

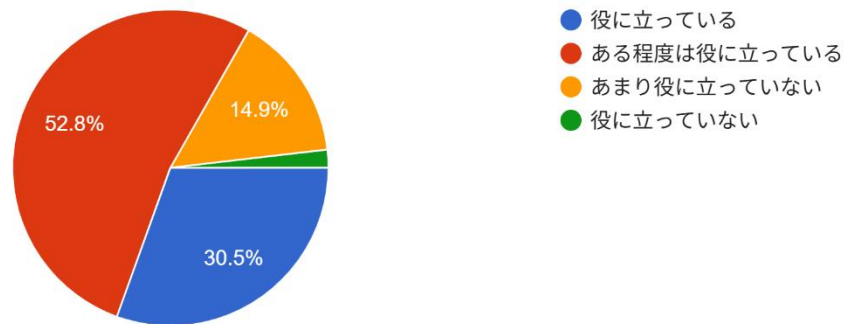
※70 代は回答数が少ないため、60 代以上として回答を整理。

問5 日本社会福祉士会 LINE 公式アカウントの配信内容は役に立っていると感じるか

配信内容が「役に立っている」「ある程度は役に立っている」という回答が合計で 83.3% だった。

Q5 日本社会福祉士会LINE公式アカウントの配信内容は役に立っていると感じますか？

1,141 件の回答



役に立っている	348 人 (30.5%)
ある程度は役に立っている	602 人 (52.8%)
あまり役に立っていない	170 人 (14.9%)
役に立っていない	21 人 (1.8%)

■年代別の回答数

	30 代以下 (105)	40 代 (281)	50 代 (459)	60 代以上 (295)
役に立っている	35 人 (33.3%)	70 人 (24.9%)	155 人 (33.7%)	88 人 (29.8%)
ある程度は役に立っている	51 人 (48.5%)	152 人 (54.0%)	229 人 (49.8%)	170 人 (57.6%)
あまり役に立っていない	17 人 (16.1%)	51 人 (18.1%)	67 人 (14.5%)	35 人 (11.8%)
役に立っていない	2 人 (1.9%)	8 人 (2.8%)	8 人 (1.7%)	2 人 (0.6%)

問 6 日本社会福祉士会 LINE 公式アカウントに対し、どのような情報配信を希望しているか(複数回答)

配信する情報については「日本社会福祉士会の研修情報」74.5%の方に希望されており、ついで「都道府県社会福祉士会の研修情報」が 65.0%の方に希望されていた。

日本社会福祉士会の研修情報	850 人 (74.5%)
都道府県社会福祉士会の研修情報	742 人 (65.0%)
行政、他団体等の福祉に関する研修情報	633 人 (55.5%)
国・地方自治体等の制度・施策情報	701 人 (61.4%)
全国大会等の社会福祉士会のイベント情報	359 人 (31.5%)
行政、他団体等の福祉に関するイベント情報	397 人 (34.8%)
災害時・緊急時の支援情報等	485 人 (42.5%)
特に希望なし	22 人 (1.9%)
その他	—

■年代別の回答数

	30 代以下 (105)	40 代 (281)	50 代 (459)	60 代以上 (295)
日本社会福祉士会の研修情報	78 人 (74.2%)	222 人 (79.0%)	348 人 (75.8%)	201 人 (68.1%)
都道府県社会福祉士会の研修情報	73 人 (69.5%)	197 人 (70.1%)	310 人 (67.5%)	161 人 (54.5%)
行政、他団体等の福祉に関する研修情報	62 人 (59.0%)	168 人 (59.7%)	255 人 (55.5%)	147 人 (49.8%)
国・地方自治体等の制度・施策情報	66 人 (62.8%)	189 人 (67.2%)	276 人 (60.1%)	169 人 (57.2%)
全国大会等の社会福祉士会のイベント情報	38 人 (36.1%)	110 人 (39.1%)	142 人 (30.9%)	68 人 (23.0%)
行政、他団体等の福祉に関するイベント情報	42 人 (40.0%)	122 人 (43.4%)	162 人 (35.2%)	70 人 (23.7%)
災害時・緊急時の支援情報等	47 人 (44.7%)	126 人 (44.8%)	200 人 (43.5%)	112 人 (37.9%)
特に希望なし	2 人 (1.9%)	3 人 (1.0%)	6 人 (1.3%)	7 人 (2.3%)

※10 代・20 代・30 代は回答数が少ないため、30 代以下として回答を整理。

※70 代は回答数が少ないため、60 代以上として回答を整理。

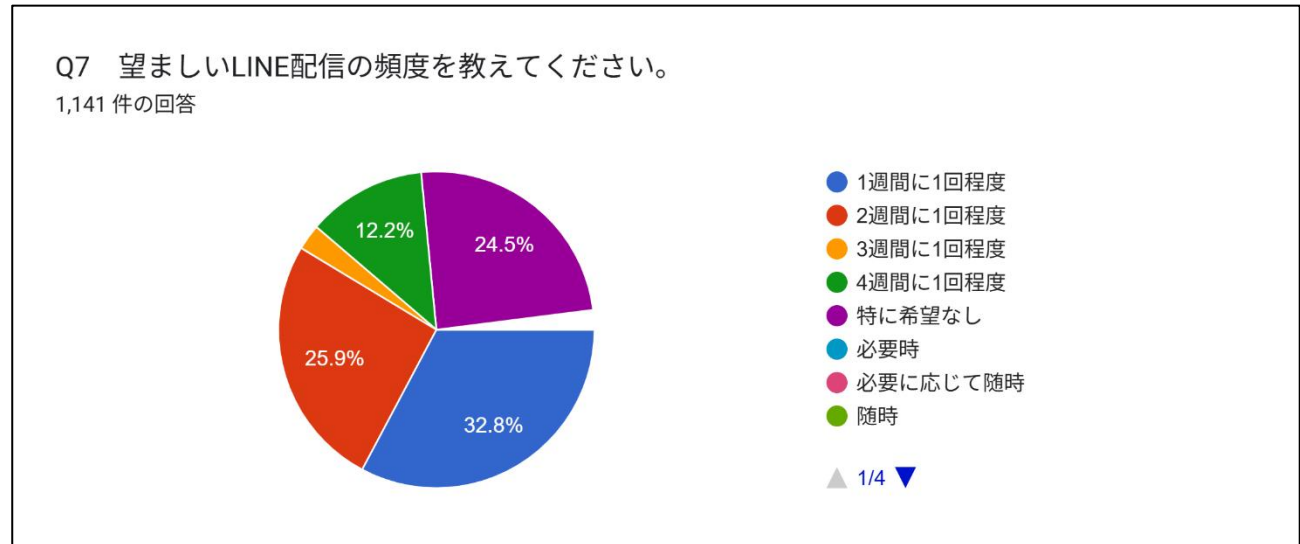
○その他の内容

その他として、以下のような情報を希望する記述がありました。

- ・本会が社会情勢に対して取り組んでいることや、認定研修や基礎研修に関すること等
- ・社会福祉士採用情報、ボランティア情報、各専門分野の情報、活躍している社会福祉士の情報等

問7 望ましい LINE 配信の頻度

現在は、2週間に1回程度で LINE のメッセージを配信しているが、「1週間に1回程度」の配信を希望する方が 32.8%で最も多く、ついで現行と同じく「2週間に1回程度」を希望する方が 24.9%だった。その他、「特に希望はなし」という方も 24.5%で多く、必要な時に随時配信を希望するという意見もあった。



1週間に1回程度	374 人 (32.8%)
2週間に1回程度	295 人 (25.9%)
3週間に1回程度	30 人 (2.6%)
4週間に1回程度	139 人 (12.2%)
特に希望なし	280 人 (24.5%)
その他	—

■年代別の回答数

	30 代以下 (105)	40 代 (281)	50 代 (459)	60 代以上 (295)
1週間に1回程度	44 人 (41.9%)	85 人 (30.2%)	156 人 (33.9%)	89 人 (30.1%)
2週間に1回程度	23 人 (21.9%)	73 人 (25.9%)	123 人 (26.7%)	76 人 (25.7%)
3週間に1回程度	1 人 (0.9%)	8 人 (2.8%)	10 人 (2.1%)	11 人 (3.7%)
4週間に1回程度	10 人 (9.5%)	39 人 (13.8%)	47 人 (10.2%)	43 人 (14.5%)
特に希望なし	27 人 (25.7%)	73 人 (25.9%)	112 人 (24.4%)	68 人 (23.0%)

※10代・20代・30代は回答数が少ないため、30代以下として回答を整理。

※70代は回答数が少ないため、60代以上として回答を整理。

○その他の内容

- ・重要な情報ならその都度配信してもらいたい

問8 日本社会福祉士会に期待する活動(複数回答)

日本社会福祉士会に期待する活動としては、「研修の開催（認定研修以外）」が68.1%で最も多く、ついで「社会福祉士の活用・処遇改善等に関わる行政等への働きかけ」が59.7%で多かった。

研修の開催（認定研修以外）	777 人（68.1%）
認定研修の開催	358 人（31.4%）
e-ラーニングコンテンツの開発	534 人（46.8%）
社会福祉士の活用・処遇改善等に関わる行政等への働きかけ	681 人（59.7%）
社会福祉士の実践に関わる書籍の出版やツールの開発	384 人（33.7%）
社会福祉士を対象とした保険の整備等	216 人（18.9%）
社会福祉の各分野に関する研究・交流機会の設定	520 人（45.6%）
特になし	24 人（2.1%）
その他	—

■年代別の回答数

	30 代以下（105）	40 代（281）	50 代（459）	60 代以上（295）
研修の開催 （認定研修以外）	73 人（69.5%）	199 人（70.8%）	314 人（68.4%）	190 人（64.4%）
認定研修の開催	37 人（35.2%）	115 人（40.9%）	148 人（32.2%）	58 人（19.6%）
e-ラーニングコンテンツの開発	56 人（53.3%）	135 人（48.0%）	223 人（48.5%）	120 人（40.6%）
社会福祉士の活用・処 遇改善等に関わる行政 等への働きかけ	71 人（67.6%）	196 人（69.7%）	268 人（58.3%）	146 人（49.4%）
社会福祉士の実践に関 わる書籍の出版やツール の開発	55 人（52.3%）	113 人（40.2%）	141 人（30.7%）	74 人（25.0%）
社会福祉士を対象とし た保険の整備等	30 人（28.5%）	68 人（24.1%）	81 人（17.6%）	37 人（12.5%）
社会福祉の各分野に関 する研究・交流機会の 設定	58 人（55.2%）	136 人（48.3%）	198 人（43.1%）	128 人（43.3%）
特になし	0 人（0%）	4 人（1.4%）	11 人（2.3%）	7 人（2.3%）

※10代・20代・30代は回答数が少ないため、30代以下として回答を整理。

※70代は回答数が少ないため、60代以上として回答を整理。

○その他の内容

（会の取り組みに関すること【研修除く】）

- ・社会福祉士会の質向上と標準化、活動の検討
- ・国への働きかけ等による社会福祉士の価値向上の取り組み
- ・多職種他団体との積極的な連携
- ・研修や交流の場の増加
- ・本会ホームページへのより有益な情報の掲載
- ・社会福祉士会に入会のメリット、魅力を伝える取り組み
- ・掲示板もしくはタイムラインの運営配信
- ・これから福祉業界に関わりを持つ人への支援

（研修に関すること）

- ・基礎研修の課題に関する支援
- ・e-ラーニングテストへの解説の追加
- ・無料の研修の実施
- ・イベント、会議、交流の情報発信

（社会福祉士に関すること）

- ・社会福祉士の信頼度向上のための取り組み
- ・求人情報の充実
- ・社会福祉士の活動の場に関する情報
- ・高校生などへの社会福祉士の普及及び啓発
- ・政策提言できる体制の構築

（その他）

- ・社会福祉士がどのように AI を活用していくかの検討
- ・店舗や施設などでの割引等、団体名義での福利厚生を導入
- ・会費を下げることの検討

問9 日本社会福祉士会公式 LINE アカウントについて、ご意見・ご要望

いただいたご意見・ご要望について、分類分けしたもの記載する。

（LINE に対する好意的な意見）

- ・ LINE から入れることで気軽に情報にアクセスできる
- ・ 自己啓発のきっかけ作りに役立っている
- ・ 全国研修が LINE によって案内があるため、申し込み忘れを防げることに役立っている
- ・ スマホでタイムリーに最新のニュースが入ってくるのが助かる

（LINE に関する改善・要望等）

- ・ もっと内容を濃く多く発信してもらいたい
- ・ LINE アカウントがどのような目的で使用されるのか示して欲しい
- ・ プリントアウトできないので、ホームページのどこに掲載されているか分かりやすくして欲しい
- ・ 真面目一辺倒ではない発信もあるとよい
- ・ ビッグデータや生成 AI を活用し、より分かりやすい情報を発信してもらいたい
- ・ 各県社士会のシンポジウムや研修の情報の他、海外の情報もあるとよい
- ・ 国の施策等の情報もあるとよい
- ・ こまめな配信、親しみやすさを意識してもらいたい
- ・ 難しい内容が多いので、より簡易な情報が知りたい

（その他）

- ・ 様々な事業で休職している方がいるので、復職に向けたコンテンツがあるとよい
- ・ 現場で活躍中している社会福祉士の話がみたい
- ・ 学生向けに働き始める前の段階の研修があったらよい
- ・ 今後改善されて有効に情報提供ができることを期待する
- ・ 社会福祉士の LINE スタンプを作って欲しい
- ・ 情報を受け取るだけのため、意見や質問等を送ることができるようにしてもらいたい